

## 令和4年度 つながる鎌倉エール事業（協働コース） 応募状況の一覧表

	担当課	団体の概要・目的	提案取組（企画書の一部を抜粋）	公開プレゼンの実施
1	高齢者 いきいき課	<p>■団体の目的 会員相互の協力、協調のもとに、近隣地域住民が参加する趣味活動、生涯学習活動、交流活動等をつうじて、地域社会に貢献することを目的とする。</p> <p>■直近の活動 火曜・木曜日の自由利用日（自主サークル活動多数）</p> <p>【本会主催活動】 ●第1日曜日 英会話くらぶ ●第3木曜日 ミニマルシェ、親子ひろば ●第3土曜日 朝市、体操 ●第1火曜日 不登校について話す会</p>	<p>●本事業では、地域共生社会を先導する鎌倉市の住民オピニオンリーダーへ孤立に関係する講座を行い、他の住民に影響を及ぼす過程を記録する。</p> <p>●2023年春～2024年春まで茶話会形式の講座を10回開催する。</p> <p>●話題提供者は、「他者とのつながりを必要としながら孤立しがちな人がつながるための各団体の活動実践」と「活動を通して直面している課題はなにか、参加者はなにかができるか」を軸とし、参加者や話題提供者同士で話し合う。</p> <p>※地域の慣習や価値観が変化をする際には、大衆の意見や行動に主導的に影響を及ぼす人、とされるオピニオンリーダーの影響がある。</p>	○
2	地域共生課 文化課	<p>■目的 日本及び海外ルーツの親・子どもに対して、子育て期からのダイバーシティ・インクルージョン推進に関する事業を行い、誰もが自分らしさを発揮し、互いを受け入れ、輝きあうことができる共生社会づくりに貢献すること</p> <p>■直近の活動 ●「子育て中の人のやさしい日本語おしゃべり会」（鎌倉市後援。） ●「My Story 日本で暮らす海外ルーツママの話」※いずれもオンラインイベントとして開催。（令和4年度キリン・地域のちから応援事業）</p>	<p>●当事者の困りごとに応じて、相談先・相談方法がわかる一覧「かまくらサポートリスト」をベースに多言語化した広報媒体を作成する。 （まず「やさしい日本語」「英語」版を予定）</p> <p>●広報媒体は、今後情報を更新することを踏まえ、まるまるの著作物としてWEB上及び簡易な印刷物として作成する。</p> <p>●効果的な周知啓発方法、発信方法については、団体と地域共生課で調整し検討する。</p>	○
3	文化財課	<p>■目的 鎌倉・玉縄城の歴史を再発見し、その歴史的自然環境を整備保全し玉縄城址歴史ミュージアムを構築するとともに、これらを活用して鎌倉・玉縄城址地域の新たな歴史まちづくりを、行政と協働して進めることを目的とする。 戦国時代の名城、鎌倉・玉縄城址の遺構群の地域文化財を“守り、学び、次世代に伝える”活動を行う。</p> <p>■直近の活動 ・平成19年より令和4年度まで、玉縄学習センター郷土資料展示コーナーの企画展を教育委員会文化財課と協働。 ・文化庁文化芸術振興費補助事業『鎌倉・玉縄城址を活かす歴史ミュージアム事業』平成28年4月～平成32年2月まで5年間、さらに令和4年4月から継続実施中。 ・市提案協働事業『小・中学生のための体験型社会科学習事業』</p>	<p>●「鎌倉の埋蔵文化財16」に概要が記載される、5地域の発掘地点の検証。</p> <p>●玉縄城跡発掘調査地点3カ所の報告を検証する。それにより5つの地域全体の玉縄城としての役割が明確になる。</p> <p>●講義は文化財課の発掘調査資料を基に4月から月1～2回の講義8回開催。講師は伊藤一美、玉林美男、齊木秀雄、大竹正芳の4名、当会の10年間の歴史講座で蓄積した資料を合わせて、現在の映像を加え、報告書発刊の準備を開始する。</p> <p>●シンポジウム、報告書発刊、DVD制作、ギャラリー展示を行う。</p>	○
4	みどり公園課	<p>①鎌倉市市民活動センター ■目的 鎌倉市内の市民団体の活動を支援する組織として、団体の自立支援、団体への情報提供、啓発活動、相談を行い、地域の多様なセクターの連携をはかることで住みやすい地域社会をつくることを目指す。 ■直近の活動 鎌倉市市民活動センターの指定管理業務</p> <p>②地球の楽校 ■目的 地域における人づくりの原点である青少年への成長支援のニーズに取り組む場として、子どもの居場所作り事業を実施し、さらに青年期以降の支援教育、大学における人材教育にも取り組んでいる。 ■直近の活動 2015年 工学部大学院コース人材育成授業に参画（～2017）鎌倉市役所・NPO団体 東京大学新領域創成科 2019年 神奈川県「市民による森の再生事業」認証、コスモ石油エコカード基金助成。</p>	<p>1. マップづくり ・鎌倉の森と自然環境の保全と活用を行う市民団体の活動のマップを作成 ・団体やグループを新たに調査し、マップに加える</p> <p>2. 新たな市民参画 ・市民参画型の体験会やフォーラム、ワークショップなどを行い、市民参画を促す。</p>	○
5	環境政策課 ごみ減量対策課	<p>■目的 生活環境の向上を目指す個人及び団体に対して、環境にできるだけ負担をかけない暮らし方を基本に 持続可能な社会の構築を推進する活動を行うことを目的とする。</p> <p>■直近の取組 ●「リユースネットかまくら」（市との協働事業）運営 ●「気候変動について考えよう」「食品ロス」について学習会実施：講師 環境部環境政策課職員 ●「地球環境と省エネ（上手な電気の使い方）：パナソニック」学習会を市と共催実施 ●鎌倉市ごみ処理施設のビデオ撮影（名越クリーンセンター、苗田リサイクルセンター、植木剪定材受入事業場、テクノトランス）：環境部ごみ削減対策課より紹介</p>	<p>●鎌倉の環境をまもるため、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の大切さを学ぶビデオまたはパネルを作成する。</p> <p>●市民が具体的にできる リデュースをビデオにする。（食材を使い切る知恵、マイバッグの作り方）</p> <p>●市民が具体的にできる リユースをビデオにする。（傘の修理、包丁とぎ、網戸の修理、衣類のリフォームなど鎌倉リサイクル推進会議で実施している「生活の知恵教室」の講座をビデオ撮影する）</p> <p>●市民が具体的にできる リサイクルをビデオにする。（廃油から石鹸を作る、牛乳パックから紙を作るなど）</p> <p>●市民が分別し出したごみが資源になることを学べるビデオを作る。（分別の大切さを学べるようにする）</p>	×

提案団体の取組には、担当課としても共感をしているが、提案事業のタイミングが良くないため、本提案事業は協働コース公開プレゼンテーションには進まない。公開プレゼンテーションには進まないが、団体からの要望の窓口になり、今後は連携を図っていく。

6	mama care 湘南	市民健康課	<p>■目的 妊娠中や出産後の女性に “妊娠・産後の体の変化の影響が生涯にわたりにどのように影響があるか、適切なケアがなぜ必要なのか” ということを当事者に知ってもらい、女性の生涯に渡る健康づくりをサポートすることを目的とする。</p> <p>■直近の取組 ●2021年度より鎌倉市からの委託事業として `妊娠中のママケア、` を開催。 ●2022年度も、昨年度に引き続き7月より6回開催予定となっている。</p>	<p>1. 産前産後女性の身体の変化についてや、ストレッチなどを示したリーフレットの配布</p> <p>2. 産後女性に向けた個別相談</p>	○
7	team HINATA	障害福祉課	<p>■目的 ダンスでリズム感や表現力、協調性や競争心を養っています。また、ボランティア活動として、老人福祉施設、こども医療センター、療育医療センターなどへ訪問しパフォーマンスをする事で、訪問先の方々に笑顔にしてもらえるものや、色々な方たちとの交流から理解を深めたり、助け合いの精神や思いやり、生き抜く力を学んでいます。team HINATA は子どもたちの豊かな心を育み、地域や支援を必要としている人たちに貢献することを目指しています。</p> <p>■直近の取組 ●team HINATA 主催のハピネスfestival を開催。3歳のきかちゃんがかみそりをするための費用を集めるチャリティイベントをおこなった。 ●コロナ禍でイベントが激減している事で就労支援事業所の売り上げが減り、スタッフの意欲も低下しているとの相談を受け、事業所製品を知ってもらい、直接商品を買って支援する事ができるイベントを開催した。 ●「こどもホスピス」を多くの方に周知するイベントを開催予定。</p>	<p>【チャリティイベントの開催】 就労支援事業所支援（以下、事業所と省略）</p> <p>【現状】コロナ禍により、制作した商品の売れる機会が減り収入が減ってしまいました。また、売れない事により制作スタッフの意欲も下がってしまいました。 ・鎌倉市内の事業所の周知と物販販売による収入確保。 ・販売機会増による事業所スタッフ意欲向上。 ・一般企業と事業所のマッチング機会を提供。</p>	○
8	特定非営利活動法人 鎌倉シチズンネット	広報課 選挙管理委員会	<p>■目的 行政と協働して、最新の情報通信技術を活用して、市町民及び各種団体の情報環境の構築支援や情報関連サービスを提供する事業を行うことにより、豊かに、平等に、楽しく、活発に行えるような市町村民生活の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>■直近の取組 ●「鎌倉市インターネット活用事業」 ●「鎌倉市不用品登録協働事業」</p>	<p>鎌倉市広報板等の設置箇所の緯度経度情報を求め、これを電子地図上に掲載する。鎌倉市広報板等のジオコーディング情報をオープンデータとして公開する。データ・フォーマットはCSV、GeoJSON、KMLとする。開発するホームページについてはスマートホンのようなGPS機能付端末の場合は現在位置の表示可能とする。</p>	<p>×</p> <p>「市の広報板」については職員の手でもできる作業感であり、「選挙ポスターの広報板」については、委託事業として実施できる余地があることから、本提案事業は協働コースには馴染まないため、公開プレゼンテーションには進まない。</p>
9	特定非営利活動法人 hinatabocco	教育指導課 青少年課	<p>■目的 母親やその家族に対して安心して子育てできる環境づくりを支援することに関する事業、外国人の母親やその家族との国際交流に関する事業を行い、男女共同参画社会の形成の促進及び子どもの健全育成を図ることに寄与することを目的とする</p> <p>■直近の活動 ●子どもゆめ基金助成活動2022年度2件 1 海外の文化を学んで親子で作る5か国の料理体験 2 私たちのまちのお店でお仕事体験 ●イースターハグイベント・ピクニック（鎌倉市共催）</p>	<p>参加する学校を募集し、その学校の生徒を対象に異文化交流を図る。</p> <p>①外国籍講師との交流 ②講師の祖国料理と一緒につくる、または味わう</p>	<p>×</p> <p>・小学校のカリキュラムとして実施するには、年度初めに各担任の先生に確認するため、実施の不確定要素が強いため。 ・代替案として、青少年課の放課後がまくらっ子プログラム講師の事業を検討することとなった。</p>